

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成19年10月5日 NO.12

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

は、9月定例会（第4回）
9月10日に招集され
9月27日まで開かれ、平成
18年度一般会計・各特別
会計の決算認定をはじめ、
平成19年度一般会計・特
別会計補正予算（9月補
正）神石高原町来見財産
区管理委員の選任の同意
についてなど18議案が
提出されすべて原案どおり
可決・承認しました。

一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算
の審議は、例年ですと12月議会で行われています。
が本年より9月議会で行う事になりました。本
議会で採決の結果、全員の賛成で各会計の決算を

経常収支比率は90%
を超え年々上昇しており
財政は、かなり硬直化しています。地方債（借金）

承認しました。
決算総額は、歳入で1
75億3296万円、歳
出で168億4772万
円となりました。平成
17年度の決算と比べて歳出
で2億993万4千円の
減少（-1.1%）とな
っています。歳入から歳
出を引いた6億8523
万円は平成19年度会計
へ繰越されました。

平成18年度決算を認定

6億8523万円 の繰越し

の現在高は、196億と
昨年より10億の減少と
なりました。平成19年3
月末の人口1万1863
人で割ると一人あたり、
165万円となります。

借入金の返済額は31
億8千万円ですが公債費
負担適正化計画によって
借入金返済額の半額を超

える借入れは出来ません。
借入金（町債の発行）は
17億5千万円では借換
ますので昨年より3億弱
減つており、国・県から
の支出金も6億円近い減
少で、いわゆる地方交付
税も1億円強減つてあり
財政は益々厳しいという

字で19年度に繰越しされ
ましたが、財政は厳しい
状況であることを皆で共
有し、新規の投資を含み
「夢」ある町づくりに邁
進しましょう。

平成18年度収支決算総括表 単位：万円（四捨五入）

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	110億6,432	107億6,785	2億9,645
国健保険特別会計	13億3,454	12億7,289	6,156
老人保健 "	25億2,736	23億7,771	1億4,965
介護保険 "	16億7,299	15億7,679	6,794
簡易水道 "	2億3,000	2億2,176	824
飲料水供給 "	3,585	3,033	552
農集落排水 "	2億5,415	2億4,421	993
観光施設 "	4億1,373	3億2,780	8,593
分収育林 "	3	3	0
合 計	175億3,296	168億4,773	6億8,523

平成18年度決算統計資料より 単位：万円（四捨五入）

区分	H17年度	H18年度
基準財政需要額	55億3,229	55億2,380
標準財政規模	67億518	66億4,580
財政力指数	0.195	0.211
経常収支比率	92.6%	94.1%
公債費比率	21.2%	22.4%
実質公債費比率	19.8%	21.0%
地方債現在高	206億1,089	196億1,168

平成18年度一般会計 岁入歳出明細表

歳 入		歳 出	
自主財源 (14.9%) 16億4,498万円	町税等(7%)7億7,686万円	義務的経費 (50.2%) 54億640万円	人件費(17.1%)18億4,641万円
	分担金・収入等 4億4,555万円		扶助費(3.5%) 3億8,143万円
	繰入金 2億2,043万円		公債費(29.5%)31億7,856万円
	繰越金(1.8%)2億222万円		
依存財源 (85.1%) 94億1,934万円	譲与税・各交付金 7億2,388万円	投資的経費(14.9%) 16億322万円 その他(34.9%) 37億5,823万円	内単独事業(9.5%)10億2,819万円
	地方交付税(50.8%)56億2,491万円		その他 5億7,502万円
	国・県支出金 13億1,763万円		内補助費(9.8%)10億5,603万円
	町債(12.9%) 17億5,292万円		その他 27億220万円
合 計	110億6,431万5千円	合 計	110億6,431万5千円

9月補正予算

9月補正予算		
会 計 名	補正額	(単位:万円) 補正後の額
一般会計	1億1,654	100億7,879
特別会計	国民健康保険特別会計	3,632 14億5,752
	老人保健特別会計	25億7,448
	介護保険特別会計	242 16億7,770
	簡易水道事業特別会計	1,307 5億4,881
	飲料水供給施設事業特別会計	64 3,544
	農業集落排水事業特別会計	252 2億5,193
	分収育林事業特別会計	10
合 計	1億7,150	166億2,477

9月補正は、別表のとおり全体で1億7150万円の増額です。主なものは、一般会計では老人福祉費後期高齢者経費880万円、園芸施設補助1287万円、町道仁後線整備費410万円などです。これは国保財政調整金積立返納金1762万円、净水場ポンプ439万円などです。それ追加補正されました。

主なものは、地区計画概要を定めた。の選任同意 7名の選任 来見財産区管理委員会の選任同意 7名の選任 町営土地改良区小野の選任同意 7名の選任 神石堆肥センターの選任同意 7名の選任 法人「神石高原有機農業を進める会」会長理事・黒田昇氏に定める。指定管理者を、農事組合法人「神石高原有機農業を進める会」会長理事・黒田昇氏に定める。

条例改正など



来見地区簡易水道工事 契約に同意

簡易水道再編推進事業としての、来見地区第1~3工区の請合契約が締結されました。

- 第1工区
株式会社武田組三和支店
70,035,000円
- 第2工区
東神商事株式会社
80,115,000円
- 第3工区
瀬戸内海建設株神石三和支店
84,000,000円

高蓋小学校統合か？



元気な高小っ子

町教育委員会は、学校再配置検討委員会について「諮問を行い、本年5月答申をうけた。教育委員会では、この答申に基づき、子ども達の学習環境の整備を主眼において慎重に審議しこのたび「神石高原町学校再配置基本方針」を提案した。それによると平成21年度二幸小を三和小・神石小へ平成22年度豊松中を油木中へ平成23年度三和小新校舎建設に伴い高蓋小・来見小を三和小に対等統合平成25年度豊松小を油木小へ対等統合神石小・中は、当面検討するとなつてある。町・地域のあり方・子ども達の将来をどう捉えるか。大きな検討課題です。

情報管理

神石高原町ホームページの管理は

内容の充実を図る／企画課長

決算事項別質問

支援体制はどうする

木野山 岳

木野山 町木
ームページの
アクセス件数
が多いと思う
が、各課単位
の情報が少な
い。

木野山 自治振興会21
8班のうち限界的集落は
49班、危機的集落は17
班ある。

企画課長 各地域ともに
ユニークな取組みが成さ
れているが、限界のある
集落も増えてきた。行政
が支援しないと地域が崩
壊する恐れがある。

木野山 歳
入の大幅な
減をどう受け止めてい
るか。

町長 国も
円の大幅な
歳入減だ。

木野山 歳
入の大幅な
減をどう受け止めてい
るか。

木野山 歳
入の大幅な
減をどう受け止めてい
るか。

昨年より6億2,700万円の減だ

効果的な事業を展開／町長

歳入の部

総務課長

三位一体改革
により財収増となつても
交付税が減る。努力が報
われない。

要な予算組みは行つ。
財源は確保し何
とかしたい。

合併前の投資の返済が
あり平成20～22年まで
公債費比率は大きくなる
交付税も毎年4～5億の
減となる。

企画課長 マニユアルは
無いが、各課には情報の
提供を行うようにお願い
している。

情報の発信は重要なの
でどんなことでも発信す
べきだと思う。

今後更により多くより
早く対応し、内容を充実
するよう努める。



豊松川東牛馬供養田植え

職員を4名ほど
各自治振興会を担
当させたらどうか、
自治振興会役員会
にて検討して頂い
ている。

財産処分など財源確保
に努める。この2～3年
の予算編成が大事である。

一般質問

ふれあい事業予算はどうつくる

木野山 ふれあい事業予算の減額に伴い各地域とともに事業規模の縮小・事業の縮小を余儀なくされている。このままでは住民の行政に対する信頼感が薄れてくるのでは。

懸命に努力している地域・団体へは惜しみない補助体制を確保せよ。

木野山 ふれあい事業予算の減額は計画通りやりたい。

限りのある予算なので集中と選択で必要な事業を実施して欲しい。

かがやき事業とふれあい事業の整合性を図つていただきたい。

町長

ふれあい予算の減額は計画通りやりたい。

集中と選択で必要な事業を実施して欲しい。

だ。

販売・収益

部門をもつと強化すべき

だ。

国・県の農業政策はい

わゆる「規模の利益」を

追求するもので、担い手

や特定法人を対象として

おり、辺地の零細農家を

守ることに繋がらない。

この点に農業公社の役割

があるのではないか。

また、農地の貸借を農

地保有合理化事業として

あるのではないか。

また、農地の貸借を農

地保有合理化事業として

ある。

農業公社の役割は

木野山 農業公社はこのたび、自らの経営努力で利益を追求し、特定農業法人と定農業法人として独立採算を目指し攻め出して出発出来たよう定款を変更した。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、経費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

は、絏費もかかり成り立たないので、それに加えて独立採算を目指し攻めの利益を追求する組織として農業生産法人としての組織化を図つた。

財政改革について

い地域では作業受託など作業支援を行い地域農業を守っていくのが農業公社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

それだけで社の役割だ。

能か検討する。

だけ行いたいが財政状況

が許さない。

町の借金については、

計画通り返済していくと

10年必要となる。額の大

公債費負担適正化計画の見直しで新規事

業も含め新町長期建設計

画の変更はあるか。単独

事業の確保はどうか。

事業の確保はどうか。

事業の確保はどうか。

計画通り平成23年度で実質公債費比率18%以下がクリアできるか。

本町の借金の総額は平成18年度末で242億円弱で交付税算入分を差引くと100億円強と思

うが、どう受け止めるか。

にさかのぼり計算の基礎

の変更を行つたので、予測としては平成23年度での18%クリアーは少し難しい。確定したら公

開する。

新規事業では「情報ネットワーク事業」は中身の変更を行つた。「町内周回道路整備計画」は單独町道・県道ともに計画

開する。

公債費負担適正化計画の見直しと集中改革プラン

の確実な実施という二

本立てで出来るだけ町単

独事業の確保に努める。

ADSL 整備について

空き線がまとまれ追加整備する

木野山 A D S L 整備は、高蓋・井関地区に不十分なところがある。今後の方針は、最初の整備は40回線の空き回線を一部利用したが、要望が多いので、残りの空き回線と一般電話の空き回線がまとまつた段階で追加整備をするようNTTにお願いしている。

町長 本町のように零細農家が多く法人化が難しく

農地の貸借は財団法人JA・町という制約がある。農業公社は株式会社なので受け手にはなれないが仲介行為は法的に出来ない。どうすれば可

能か検討する。

だけ行いたいが財政状況

が許さない。

町の借金については、